



函中だより

雄々しく 気高く

学校教育目標

夢や希望の実現に向けて 共に高め合う生徒

函南町立函南中学校  
令和3年10月4日発行  
文責 若月 哲也

## 緊急事態宣言解除後も……丁寧に、慎重に！

早いもので、2学期がスタートして1か月余が経過しました。行事の延期や縮小、部活動の停止など我慢や制限のある中ではありますが、十分な感染対策を講じながら、どうにか学校生活を送ることができています。裏面、学校評価の結果にもあるように、マスクの着用や手指消毒の徹底など、感染予防に対する高い意識をもって活動する子どもたちには、本当に頭が下がります。

緊急事態宣言が解除され、日々の授業をはじめ、行事や部活動においても、感染リスクの低い活動から徐々に通常に戻していきます。蒼龍祭に向けた準備も始まり、来週からは種目練習がスタートします。まだまだ油断は禁物です。これからも気を緩めず、丁寧に、慎重に子どもたちと向き合っていきたいと思います。



9.3 学力調査のようす

## うれしい便りをいただきました！

9月に入り、地域の方から右のような葉書を頂戴しました。新型コロナウイルスにより、私たちの生活や価値観は一変し、人と人の距離が遠ざかっているように感じます。「あいさつひとつで、相手の心が明るくなること」「あいさつで会話が始まり、お互いの心がつながっていくこと」この子どもたちの行動から、そんな当たり前のことに気づかされました。

マスク越しで表情はわかりにくいですが、そんなときだからこそさわやかなあいさつを心がけたいものです。いつか笑顔であいさつが交わせる日がくることを信じて……。

前略 ごめんください。去る9月8日(水)、所用で上沢へ出かけた帰り、川沿いの通学路を歩いておりましたところ、(3時頃です)函南中学の男子生徒と女子生徒のお二人から、「こんにちは」と挨拶されました。(連れだっていたのではなく別々に)思いがけなかったので、あわててお返事しました。何事にも照れくさい年頃の中学生が、見ず知らずの年寄りに声をかけるのは、なかなかできることではありません。おうちの方や先生方のご指導の賜物と思います。とても嬉しく感じて、校長先生にぜひお伝えしたいと筆を取りました。要件のみにて失礼いたします。 草々

## 熱海の復興を願って！～生活委員会による募金活動～



9.16 募金活動のようす

「熱海の復興を応援したい」

ある子どもの一言から、伊豆山で発生した大規模な土石流災害への募金活動が始まりました。のべ5日間の活動でしたが、たくさんの善意が集まりました。この募金は、町社会福祉協議会を通じて熱海市に贈られ、復興に役立てられます。

なお、募金をお渡ししたときの様子は、広報『かんなみ(11月号)』に掲載される予定です。

